

八女市立図書館のこれからを考えるワークショップ実施報告

1. 実施概要

(1) 実施の目的

本ワークショップは、「八女市立図書館本館整備基本計画」の策定にあたり、幅広い市民、利用者層からの図書館に関わるサービスアイデアを取り入れるために実施しました。

(2) 実施概要

① 実施日時: 令和5年9月16日 14-17時

② 対象: 八女市民及び八女市通勤通学者、八女市立図書館利用者層

(3) 参加者

合計37名で、下は小学生、上は70代までの幅広い世代にバランスよく参加いただきました。

(4) 実施方法

① 基本的な考え方

・基本方針の6つの取組の方向に合わせてテーブル(チーム)を6つに分けて、それぞれの切り口でアイデア出しを行っていただいた

・(基本方針の説明を聞いた参加者の希望も踏まえながら)基本的に10代から60代以上まで幅のあるメンバーが集まるように各テーブル(チーム)分けをその場で行った

・幅広い世代のメンバーがフラットにコミュニケーションが可能になるように、ブレストカードを活用したブレストワークショップ(※)の方法を主に実施した

※ブレストカード、ブレストワークショップについて: <https://brainstorming.kayac.com/>

・その他にもカードやアイデア出しの方法を使いながら、チームワーキングで幅広く多くのアイデアが出るように進行を行った

・ブレストで出たアイデアはテーブル内に配置した運営メンバーがすべて書き取るとともに、事後にワークショップ内で使用して回収した各参加者のワークメモや感想アンケートからもサービスアイデアを抽出し、取りまとめを行った

(5) 実施結果

①ワークショップ内で発案されたアイデア数合計:246

・アイデア例:①「へえ～、そうなんだ！」を増やそう

面白い実験ができる、常に(夏休み以外も)自由研究のコーナーが充実、社会経験ができる、生活のまめちしきを紹介してくれる、まちの遺跡や八女の歴史に触れられる、おすすめスポットがわかる、歴史のある図書館であることを伝える、お城の模型を用意、ラボスペースがある、本と関係する様々なものと触れ合うことができる、企画展がたくさんある、文系、理系を問わず様々な知と関われる、色々な実験イベントがある、色々な人の話が聞ける(同じ人になりがちなので)、本と一緒に体験の展示がある、八女市や福島城の展示、宇宙/星に関わる情報の展示

・アイデア例:②「どうも、ありがとう！」を増やそう

市民参加の仕組み(ボランティアなどの強化)、オタクの知識を披露する場がある、市民が色々なあり方を試す余地のある図書館、市民から様々なことを提案できる、(イベント等で)市民がつくったしおりがもらえる、(市民の)●●が選んだ本コーナー展示、図書館にない本も(市民が)おすすめできる、気軽なものからボランティアとして関与できる機会が多い(しおり作成、花壇管理)、ありがとう週間、本のレビューが書けて、レビューに「ありがとう」を送れる、市民参加で本について(感想、あらすじ)のオリジナルラジオが流れている、市民参加の本のマルシェ、(市民参加で)今日の1冊紹介、図書館で嬉しかったことを箱に入れる、みんなが投稿できる本のCM、前に読んだ人のメッセージが見られるカードが挟まれている、面白い本を投票できる、個人が色々なことをお披露目できる

・アイデア例:③「なんか、面白そう！」を増やそう

楽しい情報発信、学校の読み聞かせを図書館の本にする、図書館で働いている方々のおすすめ本を音声や映像で流す、文化会館との統合、(本に限らず)流行をキャッチしている、外観がユニークで気になる、ユーチューバーがいる図書館、テーマがよく変わる図書館、謎解きイベントが定期開催される、本以外の施設と連携、漫画など子どもが気軽に読みたい本がある図書館、子ども向けの本が充実、月に一回でもいいので泊まれる(イベント)、ファッションショー開催、ボタンを押したら本が出てくる(自販機)、道の駅/伝統工芸館/未来館/観光案内所と1つの施設に、ギャラリーや物産展、遠い図書館に手紙を送れる

・アイデア例:④「いや～、助かった！」を増やそう

障害のある人が楽しく読めるスペースやサービスの充実、分館ネットワークの強化と活用、本以外も含めた有形無形のレファレンスサービス、独自の本の並べ方、スタッフの多様性、本館と分館の役割分担(本館は観光資源、分館は子育て支援 など)、ブックディレクター、仕事が終わってから使える、選書に特化したスタッフ、託児や介護機能があり、休める、果物が無料、カードをもう少し気軽に再発行して欲しい、図書カードがスマホ化、近くで返せる、電子図書館の本を増やす、PCやタブレットが自由に使える、スマホやPCの使い方を教えてくれる

・アイデア例:⑤「まちの記録」を増やそう

本以外に五感で八女の情報が集まる図書館、創作活動ができる(ファブスペース)、個人的な趣味、本や標本をつくれる、八女市の情報が本だけでなく観光・歴史・作家なども集まる施設、(押しグッズとかつくれる)創作スペース、1905年当初の図書館もまちの記録になる、八女市の「なにか」に詳しい人たちの記録集(人のお話集)、いつ来ましたなどを書けるノート(デジタル)、小さなころの自分のうちの記録、八女にいるいっぱいいる面白い人たちを取材、人物の記録を残す、八女の昔の写真のアーカイブ、歴史的なポイントをVRで見ることができる(国鉄八女線とか)、イベントなどを行うことで記録が残る、分館にもそれぞれのエリアの歴史が宿る

・アイデア例:⑥「はあー、ほっとする！」を増やそう

複合施設(飲食店や運動施設など)、カフェ、それぞれの年代に応じたスペース、様々な人に向けて色々な種類のくつろぎ落ちるける場所を用意、Wi-Fi、八女茶のアロマ、ちょうちん、あかり絵、ゴロゴロできる空間、緑がある空間、子どもなどそれぞれの年代に応じたスペース、自由に使えるイベントスペース、BGMを流す、いろんなかたちの椅子、睡眠のためのリラックススペースがある、子ども専用スペースがある、(内でも外でも)八女の自然を楽しめる、お年寄りのための場所が充実している、水分の補給ができる図書館、建物の中にも外にも色々なものがある図書館、おしゃべりOK、出会いの場、気軽に声をかけあえる、動物がいてもいい、絵本の物語を空間に、壁一面の本、学習スペースの充実、居心地の良い空間、緑の森の中にお茶の香り、音楽を聴きながらゆっくり本を読める、うすぐらいなかでソファに、八女のレガシーを感じる建物デザイン、アナログな掲示板のある交流スペース、ハンモックがある

※アイデアの内容の詳細については別紙(参考資料)参照

②事後の感想アンケートの結果

・実施後に満足度を10段階で聞いたアンケートでは平均8.6と非常に高い満足度を得た。(NPS換算では+61.3)

※その他の感想については別紙(参考資料)参照